

して、数段、高性能で安定なカラーテレビ受像機用標準シャーンを開発し、量産している。

このシャーンでは高圧部品の改良・開発により、蛍光体の改善による分を含まないで明るさを従来比160%にすることに成功したのをはじめ、回路の大幅な基板化による性能の均一化、新回路の開発・改善による動作の安定化、コンパネの改良などによって従来になかった高性能カラーテレビ受像機を出現させることができた。

またカラーテレビは性能面だけでなく、デザイン面でも高級家具的要素が要求されているが、現在市販中のCN-92S形は、カラーテレビでは日本ではじめて通商産業省選定のグッドデザイン商品に選定された。

白黒テレビは、「1人1台」パーソナルテレビの需要が急伸しており、日立製作所が最初に開発した12形がこの主体となっている。12形トランジスタテレビ“マーク77”では、多くの長所がありながら技術的に困難な点が多く、あまり普及されていないソリッド・ステート化に成功し、一段と信頼度を向上した。また、スイッチを入れると同時に画像の出るクイック・スタート回路、雑音がいっても画像の乱れない雑音除去回路、電圧が変化しても画像が伸び縮みしない定電圧安定化電源回路など画期的な新回路を採用するとともに、デザインもGマーク商品に選定されて、“マーク77”はパーソナルテレビのベストセラーとして、いまや業界をリードしている。

#### FM受信感度0dBの高性能ステレオ、FMラジオと

#### 超小形FMステレオラジオの品質向上およびカセットテレコ

FM放送番組の充実に伴い“キャスルシリーズ”はFMチューナのフロントエンドを、シリコンエビタキシャルプレーナ形トランジスタ(2SC-683)と3連バリコンで構成し、受信感度に直接影響する中間周波部を4段増幅と2段リミッターで構成し、高感度に伴う問題を解決した。低ひずみ率ロールフリーエッジスピーカ使用、ITL、OTL方式(実用新案申請中)による超低音低ひずみ率、FM同調に便利なミュート回路などの特長を備えている。

FMステレオ放送が受信できる世界最小のポータブルラジオ“KS-1700”を開発した。ステレオ分離回路に改良を施し(実用新案申請中)部品の小形化、単体調整化を行なったブロック基板方式を採用し性能・品質を向上させた。独立スピーカボックス、ステレオインジケータ、連続式音質調整、チューナ出力ジャックなど小形ながら多くの機能を備えている。一方“KH-1230”は高周波回路に全面にシリコントランジスタを使用し、中間周波4段増幅とあいまってFM最大感度0dB(1 $\mu$ V)以下の超高度ラジオである。同調指示計、スケッチ装置、AFCなど使用に便なる装置を備え、3段音質切替と8 $\times$ 12cm大形スピーカにより高忠実度の音質を得ている。

新しいリールシステムのフィリップスタイプ“コンパクトカセット”を使ったテープレコーダーTRQ-210(DC式)、220(AC/DC式)を開発した。このシステムは、日立製作所でフィリップスと同時に研究開発したカートリッジ式レコーダーTRQ-200の経験を基礎に、安定したメカニズムと超精密仕上げによるすぐれた音質・音量をもち、国内はもとよりアメリカ、ヨーロッパを中心にたいへん好評を得ている。

#### 和風リングライト器具(伝統美シリーズ)

樹脂メーカーと共同開発した低発泡スチロール樹脂(RF樹脂とも呼ばれる)は、従来、照明器具の材料として必ずしも満足されなかったプラスチックのイメージを破り、家具と調和する独特の木質感を持っている。そのうえ、厚肉にしてもひけず、量産性も一般のスチロール樹脂とほとんど変わらないなどの利点を有する。この特長を生かして、日本の伝統工芸美を追求した高級和風リングライト器具(伝統美シリーズ)を12器種(30W3器種、60W3器種、40W・70W高照度6器種)を開発した。

## ■ 住 宅 用 品

### 新形ポリプロピレン浴槽 HM-110形

従来のHM形と同様四方エプロンの据え置き式だが、浴室面積が狭くなった最近の傾向に合わせてコンパクトタイプとした。

独自の射出成形技術を生かしたユニークなデザインで、補強構造を強化して従来の壁厚50mmを40mmにするとともに、エプロン部分を伸ばし内槽と排水口をポリプロピレン一体成形とし、また底当て板と台板を一体化、現地組み立て式の循環水口を採用して、大幅なコストダウンを実現した。

42年度の通商産業省グッドデザイン商品に選定され、すぐれた保温性・入浴感および購入しやすい価格でたいへん好評を博している。

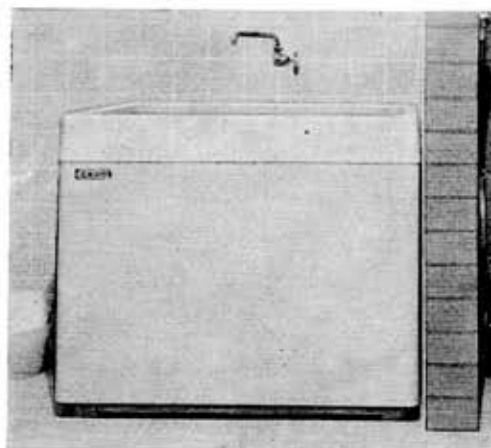


図4 日立  
ホームバス  
HM-110形

### ハイヒーター(太陽熱温水器)

最近、一般家庭用および業務用に日立ハイヒーター(太陽熱温水器)がますます活発に利用されるようになった。

温水器は、盛夏は高温、冬期は-15℃以上の低温にさらされるから、そのパイプはすぐれた耐熱性・耐寒性をもつことが要求され、特に酷寒地では水が凍結してもパイプが破損しないことが絶対必要とされる。日立ハイヒーターはこれらの条件を満たすため主材料にポリエチレンパイプを使用し、また200lの大容量・自動給水方式で一度に大量の温水が使用できるのでたいへん好評である。

### UJS-201形 バスユニット

マンション・アパート・高級住宅用として、ホームバスHM-113形、ホームボイラーHB-22形と便器とを組み合わせたユニットである。床部分に一体成形のFRP(強化プラスチック)パンを使用した独特な防水方式に加えて、大幅なコストダウンで手ごろな価格を実現したことでたいへん好評を得ている。

標準仕様は1,150 $\times$ 2,320mmのスペースに浴槽・ボイラー・洋式便器が組み合わされているが、これに洗面器を加えたもの、または便器の代わりに洗面器を組み込んだものも製作可能である。

東京新宿に近い笹塚コーポラスに大量324セットが納入された。

### Dシリーズ配線器具

日立化成工業株式会社では41年度のDシリーズに、コード付き2個口テーブルタップD、コード付き3個口テーブルタップD、角形コンセントD、ダブルコンセントD、10A角形スイッチD、安全コンセント、プッシュプラグの7品種を加えた。

コンセントおよびスイッチの結線は差し込み式で、心線を結線端子に巻き回しねじ締めする必要がなく結線が容易である。また、回転とびら付きの安全コンセント、片手で操作できるプッシュプラグなどはいずれも安全性と使いよさを基本とした製品である。